

公立佐賀中央病院医療情報システム導入業務 プロポーザル募集に関する質問書への回答

No.	資料名称	ページ	項目	質問内容	回答
1	公立佐賀中央病院医療情報システム導入業務 プロポーザル実施要領		2. 業務の概要 (4) 履行期間	令和7年3月31日まで、どこまでの工程を完了させなければならないでしょうか。	令和7年6月30日までの期間延長を前提として、稼働立会いを除く全工程を完了して下さい。
2	公立佐賀中央病院医療情報システム導入業務 プロポーザル実施要領		2. 業務の概要 (5) 本稼働時期	4月～6月仮稼働とのことですが、どの状態までシステム構築する必要がございますでしょうか。また、サーバはいつから院内に設置可能でしょうか。職員様への操作指導は、新病院様の建屋内で行うことは可能でしょうか。	仮稼働は、サーバ設置、システム間連携テスト、端末設置および稼働テストを行った上で、本番環境と同等のリハーサルを行える状態までを仮稼働期間内に構築して下さい。サーバの設置時期は令和7年3月26日以降を予定しています。操作指導は、職員の移動を考慮し、多久市立病院、小城市民病院のそれぞれで行うことを想定して下さい。
3	公立佐賀中央病院医療情報システム導入業務 プロポーザル実施要領		3. 12. 提案書の提出及び提出部数 (1) 提出書類等 ③業務工程表	様式任意とのことですが、記入例がございましたらご提供頂けないでしょうか。	週単位(1月を4分割)でのガントチャート等で記載下さい。「誰が」「いつまでに」「何を行うか」を一覧性のある形で記載して下さい。
4	公立佐賀中央病院医療情報システム導入業務 プロポーザル実施要領		4. 12. 提案書の提出及び提出部数 (1) 提出書類等 ④提案書	A4縦のご指定ですが、A4横でも認めて頂けないでしょうか。A4縦が必須ということでしたら、A4横を2UPでの印刷でもよろしいでしょうか。	A4横での記載を可とします。
5	実施要領 様式5	P. 3 P. 1	提案書書式	提案書の書式について、「日本工業規格A4縦」と「日本工業規格A4判 様式任意」の記載があるが、様式任意(横でも可)か、縦指定か。	A4横での記載を可とします。
6	公立佐賀中央病院医療情報システム導入業務 プロポーザル実施要領		5. 12. 提案書の提出及び提出部数 (1) 提出書類等 ④提案書	電子カルテシステムの提案内容だけでなく、各部門システムの提案内容を提案書に記載する必要はございますでしょうか。	各部門システムの提案内容の概要(メーカ、型式、特徴など)を記載して下さい。
7	仕様書		1章 包括的要件 3節 データ移行について	このご要件では、既設システムと同一メーカーでなければデータ移行はできないと思われまます。ご採用メーカーを限定するような仕様と見受けられますので、必須項目から外して頂けないでしょうか。	詳細な移行対象のデータは各システムの仕様に従って回答して下さい。本節の回答については「全く移行しない(出来ない)」を「×」、「全てもしくは部分的に移行する(出来る)」を「○」として可否回答欄に記載して下さい。画像検査以外のデータ移行については、手入力によるデータ移行を可とし、手入力に係る人件費は見積りに含めて下さい。
8	仕様書		2章 ハードウェア 3節 クライアント端末基本要件 1項 7目 4枝	給食部門システム用端末1台をご指定ですが、この端末は電子カルテや他のシステムを同居させるのではなく、給食部門システム単体の端末との認識でよろしいでしょうか。また当該端末のスペックは、クライアント端末基本要件を満たしていればよろしいでしょうか。	給食部門システム単体の端末(委託業者利用)です。スペックはクライアント端末基本要件を満たして下さい。
9	仕様書		2章 ハードウェア 4節 プリンタ類 1項 モノクロレーザプリンタ	モノクロレーザプリンタのご指定ですが、ビジネスモデルのインクジェットプリンタの提案でもよろしいでしょうか。	レーザプリンタと同等の印字速度を有する場合は可とします。その際はインクジェットプリンタを提案する理由を明記して下さい。
10	仕様書		17章 診療情報管理システム	必要な台数をご教授願います。	2台とします。
11	資料6_情報系端末 数量		2F 処置室	パソコンの台数は0ですが、電子カルテは1ライセンス必要となっております。デスクトップ、ノートどちらをご希望でしょうか。	電子カルテライセンスを0として下さい。
12	資料6_情報系端末 数量		部門端末DT 部門端末NT 情報系端末 情報系プリンタ	仕様書上ではこれらのハードウェアについてのご要件は無さそうですが、今回提案の範囲外との認識でよろしいでしょうか。	部門システム用端末として、2章 ハードウェアに特記の無いものは調達範囲外です。情報系端末、情報系プリンタについても調達範囲外です。
13	資料6_情報系端末 数量		Lic. 薬剤 Lic. 生理 Lic. 透析	仕様書上ではこれらのシステムについてのご要件は無さそうですが、今回提案の範囲外との認識でよろしいでしょうか。	薬剤システム、生理検査システム、透析部門システムは調達範囲外です。
14	資料6_情報系端末 数量		医療系デスクトップ 医療系ノート 医療系プリンタ 医療系ラベルプリンタ 医療系スキャナ バーコードリーダー	左記の台数に予備機は含まれてますでしょうか。もし含まれてなければ、それぞれの機器で予備機は何台ずつ必要でしょうか。	予備機は含まれていません。 医療系デスクトップ 5台 医療系ノート 5台 医療系プリンタ 3台 医療系ラベルプリンタ 3台 医療系スキャナ 2台 バーコードリーダー 5台 を予備機として見込んで下さい。

15	資料6 情報系端末数量	P.1	端末関連	調達範囲（見積範囲）の対象機器が不明です。項目名に【医療系】と記載のある機器の認識でよいが、島HUBや電話機も含め全て調達範囲になるのか。	情報系数量のうち、医療系デスクトップ、増設モニタ、医療系ノート、医療系プリンタ、医療系ラベルプリンタ、医療系スキャナ、バーコードリーダ、および提案に含まれる医療情報システムのライセンスを調達範囲として下さい。部門端末については、No.12の回答に準じて下さい。
16	仕様書		2. ハードウェア 2-2-1.	「～パターンファイルを最新に保つ仕組み（ネットワーク設定等）については提案を行い、ネットワーク工事業者との打合せにより構築すること。」とは、外部のインターネットへの接続部分については、ネットワーク業者との打合せ、対応方法等について協力はするが、スイッチ・ルータ・回線等具体的な機器・構築作業等は提案外と考えてよろしいでしょうか？	スイッチ、ルータ等の機器および構築作業、回線の準備については提案外です。
17	様式7	P.1	印鑑	代表者名のみで印鑑不要でよいか。	住所、商号または名称、代表者氏名を記載の上、代表者印を押印して下さい。
18	様式7-1	P.1	印鑑	様式7は印鑑欄なしにも関わらず、明細の様式7-1のみ印鑑ありでよいか。また、代表者名ではなく業者名となっているため、見積押印用途の角印（認印）でよいか。	角印(認印)を押印して下さい。
19	様式7-2	P.1	小計の名称	導入作業費の小計が、ソフトウェア小計になっているが、業者側で修正してよいか。	修正して下さい。
20	別表1 提案書記載項目	P.1	提案書記載項目	最低ページ数・最大ページ数の指定はない認識でよいか。	枚数に指定はありませんが、提案書に沿ってプロポーザルを行って頂くため、概ね30分以内に説明可能な分量として下さい。
21	別表1 提案書記載項目	P.1	その他の要件（アピールすべき提案事項）	システムの拡張性・仕様書にない有益な機能等について、見積範囲外の提案可能範囲を含めてよいか。仕様書に記載（見積範囲内）での記載項目か。	システムの拡張性・仕様書にない有益な機能等について、自由提案とします。提案内容を見積(様式7、7-1、7-2)に含める場合、将来拡張性として含めない場合の何れも明記して下さい。
22	仕様書	-	4.1.1.1.6	スキャン文書、カルテ2号用紙のシェーマ、貼付画像についても提供される前提でよいか。	スキャン文書、カルテ2号用紙のシェーマ、貼付画像について提供される前提で想定して下さい。
23	仕様書	-	21.13.28 (別紙1)	全自動輸血検査装置は、21.臨床検査システムとの接続として別紙1にある通り、臨床検査システムとの接続でよいか。(22.輸血管理システムでないかの確認)	全自動輸血検査装置は21.臨床検査システム、22.輸血管理システム何れかとの接続を想定して下さい。連携内容、コストメリットを考慮して提案して下さい。
24	仕様書		別紙1 接続検査機器	全自動輸血検査装置は、21.臨床検査システムとの接続として別紙1に表記されておりますが、22.輸血管理システムとの接続ではないでしょうか？	上記に同じ。
25	仕様書	-	21.13.28 (別紙1)	接続対象機器について、連携仕様書のご提示がある前提でよいか。接続機種未定及び接続形式不明のため、実際の接続対象機器は、病院様の運用に沿って稼働する前提でよいか。	連携仕様書は検査機器メーカーより提示されます。接続機種未定の対象機器は、本院の運用に沿って稼働する前提として下さい。
26	仕様書		別紙1 接続検査機器	接続対象機器について、連携仕様書のご提示を必須とさせていただきます。連携仕様書に基づき、21.臨床検査システムと接続致します。実際の接続対象機器は、病院様の運用（接続機種未定及び接続形式不明の為）に沿って、稼働することとします。	上記に同じ。
27	仕様書		2章 ハードウェア 8節 再来受付システム 1項	各々AC100Vで利用可能で、最大消費電力は200W以内であること。 ⇒自動再来受付機単体の消費電力になりますでしょうか。項目13-1でA4サイズの受付票発行が仕様に入っている為、レーザープリンタを含めると、各々AC100Vで利用可能で、最大消費電力は1200W以内になります。	自動再来受付機単体の消費電力です。
28	仕様書		2章 ハードウェア 10節 自動精算システム 1項	自動精算機1台を納入すること。 ⇒プロット図では自動精算機2台の配置があります。台数は何台になりますでしょうか。	自動精算機は1台です。プロット図は将来対応用の設備検討用となります。
29	仕様書		2章 ハードウェア 10節 自動精算システム 1項 8目	再来受付機に対面した際に操作を促す人感センサーを内蔵していること。 ⇒再来受付機ではなく、自動精算機の認識でよろしいでしょうか。	自動精算機の機能です。
30	仕様書		2章 ハードウェア 11節 POSレジシステム 1項 6目	領収書・明細書が発行用できるプリンタを有すること ⇒仕様書POSレジ(13-2-9)にて領収書および診療明細書の発行は医事システム側で発行すること。の記載があります。領収書及び明細書は医事会計システムのプリンタで出力するという認識でよろしいでしょうか。	医事会計システムのプリンタから出力して下さい。